



はなもみじ

平成22年
5月25日

屋代
小学校

春秋ごとうなり

クラブ発足会

～ 25日(月)クラブ活動(4～6年)が始まりました。～

月曜日の6時間目、4～6年生は、児童会とクラブを交互に行うように計画しています。本年度実施のクラブと指導者、所属児童が決定し、25日にはクラブ発足会が行われました。

本年度発足した12のクラブ

理科(吉川先生) 工作・木工(酒井先生)
料理、昔の遊び(中村先生) 囲碁・将棋・
オセロ、マンガ・イラスト、手芸・編み物
(宮本先生) 陸上・ニュースポーツ、卓球、
ソフトボール、ダンス、焼き物

* ()内は地域講師の先生



地域講師の皆様方
ご指導よろしく
お願いします!

本校のクラブの特色として、地域の方々が講師として指導に加わってくださっていることがあります。講師の方々のおかげで、活動の幅が広がり、子どもたちの興味関心が一層高まっています。学年や学級の所属を離れた共通の興味関心をもつ者同士で、楽しい活動を期待しています。

クラブ活動のよさ (1) 自主性が養われる。

(2) 集団での活動のルールが習得できる。

(3) リーダーシップが養われ、責任感が培われる。

(4) 技能が伸び、得意な分野が広がる。 等



気をつけて
いってらっしゃい!

10月まで、7回(1回50分)の活動が、隔週で行われます。充実した活動にいきましょう。

24日(月)6年修学旅行結
団式が行われました。

最近の学校生活から



23日(日)更埴陸上大会に34名が参加。雨の中、真剣な表情で練習の成果を発揮してくれました。

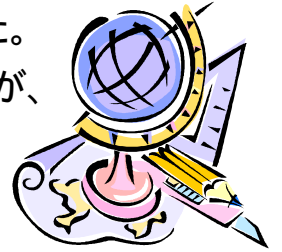


19日(水)全校音楽では、サンバのリズムに乗って、各学年で歌、演奏、踊りが披露されました。

祝ご結婚

5月1日(土)音楽専科の酒井美千代先生がご結婚されました。おめでとうございます。ますます充実した授業が行われることと思います。

これまでは、勤勉で従順な人が、社会から求められてきました。しかし、現代社会では、一生懸命働くことはもちろん大切ですが、さらに問題を解決するために自分で考え、工夫し、行動する、勇気ある社会人であることが求められます。



愛情のメッセージを送り続ける



発達障害のある子どもは、**状況の変化に対応しにくい**という側面があります。そのために、活動の見通しをもちやすくし、安定した気持ちで行動できるようにするため、次のような支援が有効です。

学習や作業などは、一定の流れで行うようにする。

予定をわかりやすく「表」や「絵」にして、事前に提示しておく。

急な予定変更の場合は、横に寄り添い、無理のない範囲で参加をする。

また、言われたことを言われたようにできるだけでなく、

選択肢をいくつか提示し、自分で選んで行動できるようにする。

自分の設定した目標達成のための道すじを一緒に考える。なぜ、今このことをすべきかを明らかにする。

等が大切な支援となります。成功体験を増やし、自信を深めながら、自分で考えて行動できる力を育てていきます。

家庭では、こうしたことを踏まえて、子どもに自信をもたせ、自己の存在感、生きがい等を育てていくことが必要です。褒められること、認められることで、自信が生まれ、「**自分が必要とされている**」「**もっとよくなる**」という思いが膨らみます。自尊感情が育ち、自分自身でさらなる努力・挑戦が始まります。褒めて育てることこそ、しつけの極意です。

その一方で、間違った行いには、ときには厳しく対応することも必要です。「自分さえよければいい」「ルールは守らない」等、いけないことをいけないと思わないようでは、人から信頼されません。自分のためにならないのです。

叱るときには、感情に流されず、何がいけないのか、理由を伝えます。



そして、褒めるときも、しかるときも、「**私はあなたがかわいくて、好きで、だれよりも愛している!**」というメッセージを送ることがとても大切です。子どもの心や体が傷つくようなしかり方(体罰、言葉の暴力)は、教育的な効果はありません。